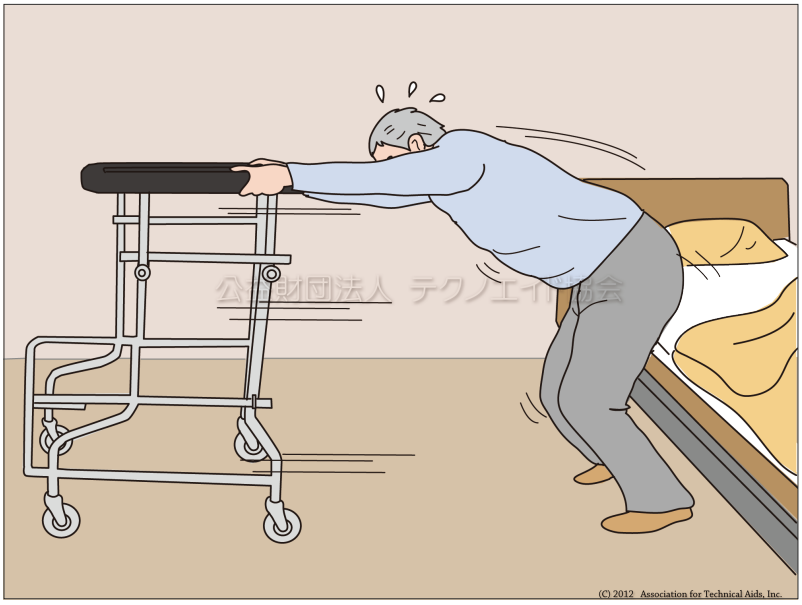
福祉用具ヒヤリハット情報

Case：248

立ち上がった際に車体が前に進み、前方へ転倒しそうになる

場面の説明

馬蹄形の歩行車を手すり代わりにしてベッドから立ち上がったため、車体が先に進んでしまい、前方へ転倒しそうになった



利用シーン	立ち座り 移動
主な利用場所	寝室 リビング・居間 ダイニング・食堂
介護保険の種目	歩行器
分類コード(CCTA95)	120606(歩行車)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

馬蹄形歩行車のような固定されていないものを補助として立ち上がること自体危険が伴います。立ち上がりにはベッド固定のベッド用グリップや床置き形手すりなど固定性の高いものを補助として利用しましょう。また、立ち上がり以外の動作でも、「勢いをつけて転倒」という例が目立っていますので、ゆっくりと確実に動作することも大切です。

参考要因

人：利用者の身体状況の変化を把握していなかった
人：危険とは思っていたが、他に頼るものがなかった
環境：手すりなど、安全な立ち上がりをするための環境が整っていなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.